

## 平成 26 年度の筑紫野市スポーツ推進委員研修会

今年度の研修は竜岩自然の家にて開催されました。主な内容は、「講話・コミュニティとスポーツ推進委員」と「第 1 回筑紫野市ニュースポーツ大会検討と体験」それに「車椅子バスケットボール」です。通常のス​​ポーツ推進委員と行政職員に加え、那珂川町のスポーツ推進委員、車椅子バスケットボールのインストラクターも参加され、にぎやかな研修となりました。



開会式、筑紫野市スポーツ振興課の市川課長のあいさつの後、研修が始まりました。



研修 I は生涯学習課の亀井社会教育主事による「コミュニティとスポーツ推進委員」の講話です。平成 27 年度施行を目指して取り組んでいる「スポーツ推進計画（仮）」の進捗報告や、市で進めているコミュニティ構想の中でのスポーツ推進委員の位置付けや役割りなどの講義がありました。



研修Ⅱ-①は「第1回ニュースポーツ大会（仮）」開催の検討です。昨年まで行われていた「いきいきウォーキング」に代わり、ニュースポーツを体験しようという企画です。テーマを「いきいきニュースポーツ広場」とし、開催要領が決まりました。

研修Ⅱ-②は、ファミリーバドミントン、バスタボー、ディスコンのニュースポーツ体験がありました。

ファミリーバドミントンは、3人制でラケットが短く、シャトルの頭部がスポンジ、打ち込み禁止などのルールがあります。

バスタボーは、バレーボールのルールを基本に、4人制でバスタオルを使って行います。

ディスコンは、ペタンクとほぼ同じルールで、1チーム6人までの人数で12cmのプラスチック製の円盤をポイントに近づける競技です。



バスタボーです。バスタオル内のボールを、二人で息を合せて相手コートに飛ばします。



ディスクンは、黄色のポイントにめがけて赤・青チームのディスク（円盤）を投げます。



研修Ⅲは、「車椅子バスケットボール」です。FHS（福岡ハンディキャップサポートの会）の山野明氏のミニ講話とクラブチーム福岡リミッツのメンバーのサポートを得て研修が行われました。



初めて車椅子に乗るスポーツ推進委員が多いため、前進・曲がり方・停止の練習です。



慣れてきたところで、チームに分けてリレーをしました。



いよいよゲームが始まりました。ボールを持って3回以上プッシュするとトラベリングになるなど、ルールはバスケットボールとほぼ同じです。

しかし、今回は体験ということで、人数制限なし、トラベリングもなしで行われました。



ゲーム体験が終わり、山野氏から車椅子バスケットボールの普及活動や福岡ミニッツの活動報告などの話がありました。

以上で今年度の研修は終わりです。研修Ⅰでは筑紫野市のスポーツ推進計画の構想を、午後はニュースポーツや車椅子バスケットボールを体験しました。冷たい雨が降るすこし肌寒い天候でしたが、研修会は寒さを忘れ熱く実施され閉会となりました。

この研修の経験を活かして、今後も筑紫野市のスポーツ推進委員としてスポーツ事業の連絡調整に努めて行きたいと思います。